

※本紙は組合員以外の商店街に面した商店すべてに配布しています

中通り通信 11月号

▼発行者・中通商店街振興組合
事務局 (TEL.0827-22-3978／
FAX.0827-22-3980)
▼発行日・令和3年11月12日

今年も残すところ2ヶ月足らず。すっかり寒くなった日々に各店とも歳末商戦に余念がない時節。まだコロナ前の賑わいには届きませんが、街の様子も一変して明らかに次のステージへ移ったよう。感染拡大防止対策を怠らず、しっかりとお客様をお迎えしたい11月です。

軽トラ市は通常版復活へ

11月の「軽トラ新鮮組！」は1年9ヶ月ぶりに出店台数制限を全面解除。現時点では出店台数が分かりませんが、秋の収穫を迎えた新鮮組！のみんなが集結します。開催は11月21日（日）10時～13時。会場には手指消毒、検温装置などが用意してありますので、ご来場の際はぜひご利用ください。また今回開催では防府市からヴィーガン食材で作った菓子や自由俳句のPRを行う方の出店が打診されています。お楽しみに！

商店街活性化事業開始

中通り商店街では、コロナ禍によって停滞していた商店街活動を再開し、街の賑わいを取り戻すため、『コロナ対策21-22活性化事業』実施します。本事業では来年2月へ向けて、①商店街共同売り出し広告、②軽トラ新鮮組！全市マップのほか、③歳末イルミネーションまつ

り、④商店街一店一品PRなどのイベントメニューを計画。コロナ感染防止対策を施しながら、今月から順次展開を始め、一日も早く平時の麻里布を取り戻すよう頑張っています。ご協力をお願いします。この事業は、山口県商店街振興組合連合会の令和3年度小規模事業者応援キャンペーン補助金を活用しています。本紙でもイベントの様子をレポートしていきます。

中学性大学生が商店街

岩国市立麻里布中学校の生徒3名が、中国新聞岩国総局へ体験学習に入り、新聞記者の実務を経験しました。同社では、中通り商店街と、ながく続いている『軽トラ新鮮組！』の活動を記事にするための取材を実施。中学生記者3名は、商店街の写真を撮影したり、藤田副理事長の話を聴いて、こまかくメモをとるなど、しっかりと記者として活動している姿が印象的でした。近々この記事は中国新聞の紙面へ掲載されるそうです。

また、広島工業大学の学生さんが、卒業論文のテーマとして、中通り商店街と岩国ジャズストリートにスポットを当て、音楽ツーリズムの可能性を考察。商店街へ来訪され、懇話会を行いました。シビックプライドは、これから社会人となる彼

等の未来を担う糧になる事でしょう。

新装開店・再開店

駅中通り商店街の中央付近へ、岩国初の家系ラーメン・ホルモン焼き『うた田家（うたたや）』が新装開店。有名なレストラン・ビストロしおらのオーナーが2号店を出しました。

【電話】090-6833-4673。

また11月22日には、長期休業だった岩国唯一もんじゃ焼き『忍者もんじゃ』が再開します。

【電話】0827-24-1268。

いずれもアルバイト募集中。

商店街振興組合連合会

県内の商店街が加盟する山口県商店街振興組合連合会の理事会が山口市で開催され、各地における今年度の事業運営などを話し合います。また中国五県および四国四県が分類される、県振連ブロック会議が高松市で開催されます。いずれも県振連副理事長に就いている藤田副理事長が出席して、各地の商店街関係者と交流、情報交換など行います。

路面清掃お願いします

歳末へ向けて清潔で明るい商店街でお客様をお迎えするため、自店前の路面清掃の強化をお願いします。